

ママさんバレー戦隊
ブルンジャー2



第四セット 怪人オツヌ!

美由紀「——でね〜」

昼下がりの午後。カフェで美由紀はママ友とお茶会を
楽しんでいた。

このカフェは市内でも有名らしく先日、テレビ番組で
も紹介されていた。客席は、ほぼ満席だったが、店内の
落ち着いたデザインもあって、なごやかな雰囲気の流れ
ていた。

だが——





ママ友「うう……お腹が……っ」

美由紀「……だ、大丈夫？」

客「ぐう……苦しい……」

客「ダメえ……漏れる……」

美由紀「みんな、どうしたのっ？」

(どの客も、お腹を押さえて苦しんでいるわ。集団食中毒……?)

戦闘員「チョウツ！」

戦闘員「チョウツ、チョウツ！」

黒タイツの集団が、店内に入ってきた！

美由紀「——ッ!? 百八軍っ！」

??「一人だけ、平気な人間がいるようだな」



美由紀「アナタはっ!？」
オヅヌ「おれは、百八軍の怪人オヅヌ。カフェの飲み物に強力な下痢作用のある溶液を入れさせて貰った。お前も飲んだはずなのだが……」
美由紀「くっ……」
(トイレや出口に戦闘員を配置させ、客たちを逃げられないようにしている……)

オヅヌ「お前は何者だ？」
オヅヌはジリジリと詰め寄ってくる。

美由紀「私は……」

(客たちは、悶えていて私のほうをあまり見てないわね)
スマホを取り出し、画面をタッチ——

美由紀「ブルンチェンジ!」

眩しい光が美由紀を包み、裸体になり——

強化スーツが装着されていく——
レッド「情愛のブルマ！ ブルンレッド……うぐっ」
変身した直後、レッドは膝を突いて下腹を押さえる。

オヅ又「ガハハハハッ！ お前が、ブルンレッドに変身した瞬間は驚いたが」
レッド「んくっ……っ」

直腸内で猛烈に荒れ狂う便意と必死に戦っていた。

オヅ又「ブルンジャーでも、下痢作用を防ぎ切ることはできなかったようだなっ」

怪人は周りの客たちを見渡す。

オヅ又「腹痛で苦しむ人間を、いたぶりながら殺していくのが、たまらん。この世の地獄を見たような顔をしてくれるからな」



レッド「は、離しなさい……………」

腹痛で身悶えているレッドを、オヅヌは易々と捕まえ、鎖付きの手枷で拘束した。

握った鎖をカチャカチャ鳴らしながら、オヅヌは下品な笑い声を響かせる。

オヅヌ「ガハハハッ！ 惨めな姿だな、ブルンレッド！」

レッド「んっぐぐっ……………」

(ダメえ……………お腹が破裂しそう……………)

マスクの下では、額に脂汗を浮かべて、下唇をきつく噛み締める。

オヅヌ「もうお漏らし寸前という感じだな」

レッド「うううぐぐっ……………はあっ……………」

(ダメ、ダメえ……………出ちやう……………ああああ……………)



体験版は以上です。
体験版をお求めいただき、ありがとうございます。引き続きは製品版でお楽しみください。

地球征服を自論む悪の軍団・闇の百八軍。百八軍を倒すため結成されたブルンジャー!!
ブルンジャーの正体は、ママさんバレーをやっている人妻たち。
豊熟した身体を揺らしながら、今日も汗を流す。

ブルンジャーの一人ブルンピンクこと川島茉莉奈は、雨村圭太に思いを寄せていた。だが、圭太は憧れの寺岡美由紀ばかり気になっていた。戦いに集中できない茉莉奈は、果たして、地球の未来はどうなるのか!!

◆前作のあらすじを収録し
◆前作を未読でもお楽しみ

マカシエンドCG集
巻本30枚

敵の手に落ちる
人妻ヒロインたち...

嫉妬と惨劇のレクイエム...
衝撃のBADエンド収録!

ママさんバレー戦隊
ブルンジャー2
~ピンク悪堕ち怪人化、レッド拷問処刑~

18

本編 136 ページ!



人妻ヒロインの股間はいつもヌレヌレ



市民たちの前で
スーツ内脱糞からの
公開スカトロ!



負ければ容赦ない辱め!



変身後のヤラレシーンを大幅増量!



裏切り



命乞い



プライドは打ち砕かれていく